

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東・名
 コード番号 9900 URL http://www.sagami.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 伊藤 修二 (TEL) 052(771)2126
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	19,066	29.4	417	△11.6	473	△9.2	263	△39.6
26年3月期第3四半期	14,737	—	472	—	520	—	436	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 413 百万円 (△19.0%) 26年3月期第3四半期 511 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
27年3月期第3四半期	円 銭 10.57	円 銭 —
26年3月期第3四半期	17.49	—

(注) 当社は、平成25年3月期より決算日を1月20日から3月31日に変更いたしました。これに伴い、平成26年3月期第3四半期(平成25年4月1日から平成25年12月31日)と、比較対象となる平成25年3月期第3四半期(平成24年1月21日から平成24年10月20日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
27年3月期第3四半期	百万円 18,677	百万円 11,237	% 60.2
26年3月期	18,354	10,952	59.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,232 百万円 26年3月期 10,943 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	26.5	580	9.6	625	8.5	385	△35.3	15.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	24,972,784	26年3月期	24,972,784
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	11,494	26年3月期	7,330
----------	--------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	24,963,085	26年3月期3Q	24,968,888
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策による景気の下支え効果によって、製造業を中心とした一部企業の業績が回復基調となり、雇用環境においても緩やかな改善が見られました。その一方、国内消費は消費税率引き上げや物価上昇に伴う実質賃金の変化により、消費マインドの低下が続いており、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

また、外食業界におきましては、円安による原材料費や電気料金の上昇に加え、台風や大雨などの天候不順、更には中食需要の高まりなど小売業を巻き込んだ食市場争奪戦となっており、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、①ビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」の共有、②改革の継続(意識改革・制度改革・組織改革)、③営業利益率重視の経営、④グループ経営の強化を柱に取り組みまいりました。

【各事業部門】

(a) 和食麺類部門

和食麺類部門では、主力業態である和食麺処「サガミ」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を7回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県・滋賀県で「こだわりテレビCM」を6回放映いたしました。これにより既存店客数は前年同一期間に対して0.1%減となりましたが、客単価が前年同一期間に対して0.8%増となったため、既存店売上高は前年同一期間に対して0.7%増となりました。

店舗関係では、「もんぺとくわ 江南店」を和食麺処「サガミ 江南店」(4月)に業態転換いたしました。

なお、当第3四半期末の店舗数は128店舗となりました。

(b) 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を7回実施したほか、「スピードくじ企画」を9回実施いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 千葉店」(7月)、「味の民芸 西宮建石店」(10月)を閉鎖いたしました。

なお、当第3四半期末での店舗数はFC店舗を含み58店舗であります。

(c) どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「どんどん祭」を3回実施したほか、「料理フェア」を7回実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 苗代店」を「まるど食堂 小幡店」(7月)に業態変更し、また、「どんどん庵 美濃焼卸センター店」(7月)、「どんどん庵 刈谷新富店」(9月)、「どんどん庵 日置橋店」(12月)を閉鎖いたしました。

なお、当第3四半期末での店舗数はFC店舗を含み40店舗であります。

(d) その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」において「お客様大感謝祭」を2回実施したほか、「料理フェア」を5回実施いたしました。また、大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「製麺大学祭」を1回、「料理フェア」を9回実施いたしました。

店舗関係では、国内においてショッピングセンターのレストランフロアに「さがみ庭 イオンモール各務原店」(4月)、「さがみ庭 イオンモール名古屋茶屋店」(6月)、フードコートに「サガミ村 イオンモール八千代緑が丘店」(7月)、軽井沢アウトレットモール内に「びんむぎ 軽井沢プリンスショッピングプラザ店」(7月)を出店し、海外ではタイ バンコクのショッピングモールRama 3にASEAN諸国の1号店となる和食・そば専門店「サガミ SAGAMI」(4月)を出店し、更には、インドネシアではジャカルタの人気ショッピングモールであるPLAZA SENAYAN内に「SAGAMI プラザスナヤン店」(7月)を出店いたしました。一方で、「もんぺとくわ 江南店」(4月)を和食麺処「サガミ 江南店」に業態転換し、更にはパスタハウス「JINJIN 霞ヶ関店」(4月)、「上海盛賀美 福州路店」(4月)、「サガミ村 バロー大津店」(6月)、「水山 相鉄ジョイナス店」(9月)、「水山 代々木上原店」(9月)、「さがみ 大阪大東店」(11月)、「盛賀美 小田原店」(12月)を閉鎖いたしました。

なお、当第3四半期末での店舗数はFC店舗を含み47店舗であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,066百万円、営業利益は417百万円、経常利益は473百万円、四半期純利益は263百万円となり、当第3四半期末のグループ店舗数は273店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、18,677百万円と前連結会計年度末に比べ322百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ384百万円増加し4,822百万円、固定資産は61百万円減少し13,854百万円、流動負債は前連結会計年度末に比べ165百万円増加し4,734百万円、固定負債は127百万円減少し2,705百万円、純資産は285百万円増加し11,237百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に発表した連結業績予想から修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,281,534	3,691,493
受取手形及び売掛金	147,489	197,029
有価証券	162,013	20,340
商品及び製品	113,441	121,062
原材料及び貯蔵品	225,551	301,102
その他	508,478	491,772
流動資産合計	4,438,508	4,822,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,934,220	1,974,190
機械装置及び運搬具(純額)	200,162	225,117
土地	6,646,273	6,646,273
その他(純額)	231,559	246,472
有形固定資産合計	9,012,215	9,092,054
無形固定資産		
のれん	1,019,536	943,071
その他	136,338	127,274
無形固定資産合計	1,155,874	1,070,345
投資その他の資産		
投資有価証券	1,178,386	1,364,971
差入保証金	2,068,994	1,958,673
その他	511,210	376,722
貸倒引当金	△10,529	△8,450
投資その他の資産合計	3,748,063	3,691,916
固定資産合計	13,916,154	13,854,317
資産合計	18,354,663	18,677,117
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,746	890,401
短期借入金	1,160,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	741,024	731,876
未払金	1,142,977	1,352,819
未払法人税等	163,922	57,925
賞与引当金	134,345	26,129
店舗閉鎖損失引当金	34,616	25,678
その他	536,284	549,450
流動負債合計	4,568,917	4,734,280
固定負債		
長期借入金	1,854,034	1,718,274
長期未払金	77,350	353,061
退職給付に係る負債	288,358	5,922
資産除去債務	396,388	403,181
その他	216,829	224,586
固定負債合計	2,832,961	2,705,026
負債合計	7,401,878	7,439,307

純資産の部			
株主資本			
資本金	6,303,521	6,303,521	
資本剰余金	3,405,791	3,405,791	
利益剰余金	1,097,296	1,236,390	
自己株式	△6,243	△10,336	
株主資本合計	10,800,366	10,935,366	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	70,388	211,274	
為替換算調整勘定	73,028	85,871	
その他の包括利益累計額合計	143,417	297,146	
少数株主持分	9,001	5,297	
純資産合計	10,952,784	11,237,810	
負債純資産合計	18,354,663	18,677,117	

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	14,737,690	19,066,412
売上原価	4,490,245	5,816,954
売上総利益	10,247,444	13,249,457
販売費及び一般管理費	9,775,428	12,832,004
営業利益	472,016	417,452
営業外収益		
受取利息	5,587	8,159
受取配当金	19,841	22,916
為替差益	27,536	18,073
受取保険金	6,706	2,823
雑収入	20,750	26,952
営業外収益合計	80,423	78,923
営業外費用		
支払利息	22,704	15,706
雑損失	8,870	7,586
営業外費用合計	31,574	23,292
経常利益	520,864	473,084
特別利益		
保険解約益	22,439	—
資産除去債務戻入益	11,499	—
有価証券償還益	33,360	—
営業権譲渡益	47,738	—
固定資産売却益	7,258	1
特別利益合計	122,295	1
特別損失		
役員弔慰金	47,000	—
長期借入金解約損	15,769	—
固定資産売却損	9,762	—
固定資産除却損	15,791	41,412
減損損失	20,864	52,213
その他	5,697	8,920
特別損失合計	114,884	102,545
税金等調整前四半期純利益	528,275	370,539
法人税、住民税及び事業税	91,811	95,983
法人税等調整額	688	14,593
法人税等合計	92,500	110,577
少数株主損益調整前四半期純利益	435,775	259,961
少数株主損失(△)	△1,031	△3,959
四半期純利益	436,806	263,921

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	435,775	259,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,510	140,885
為替換算調整勘定	44,740	13,099
その他の包括利益合計	75,251	153,984
四半期包括利益	511,026	413,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	510,160	417,650
少数株主に係る四半期包括利益	865	△3,703

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。